

製品名: SMC1A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00107**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 143 kDa; Observed MW: 143 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMC1A Chromosome segregation protein SmcB; DXS423E; KIAA0178; MGC138332; Sb1.8; Segregation of mitotic chromosomes 1; SMC protein 1A; SMC-1-alpha; SMC-1A; SMC1 (structural maintenance of chromosomes 1 yeast) like 1; SMC1; SMC1 structural maintenance of chromosomes 1 like 1; SMC1A; SMC1A_HUMAN; SMC1alpha; SMC1L1; SMCB; Structural maintenance of chromosomes 1A; Structural maintenance of chromosomes protein 1A.
別名	
遺伝子 ID	8243

SwissProt ID

Q14683

免疫原

標的タンパク質に対応する合成ペプチド

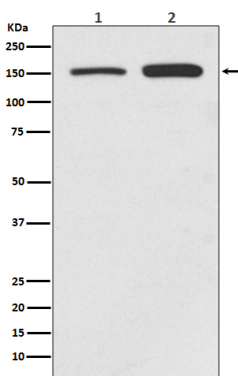
背景

染色体 1 の構造維持 (SMC1) タンパク質は、姉妹染色分体の接着を可能にし、DNA 修復において役割を果たすコヒーシン複合体の染色体タンパク質メンバーです。ATM/NBS1 依存性の SMC1 リン酸化は、S 期内 DNA 損傷チェックポイントの一環として、電離放射線 (IR) に反応して Ser957 および Ser966 で起こります。紫外線やヒドロキシウレア処理など、他の形態の DNA 損傷を受けた細胞では、SMC1 リン酸化は ATM 非依存性です。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) Jurkat 細胞溶解物中の SMC1A 抗体を用いたウエスタンブロット解析。